

令和4年度入学生 子ども健康学科 カリキュラムフローチャート

卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー（DP）】

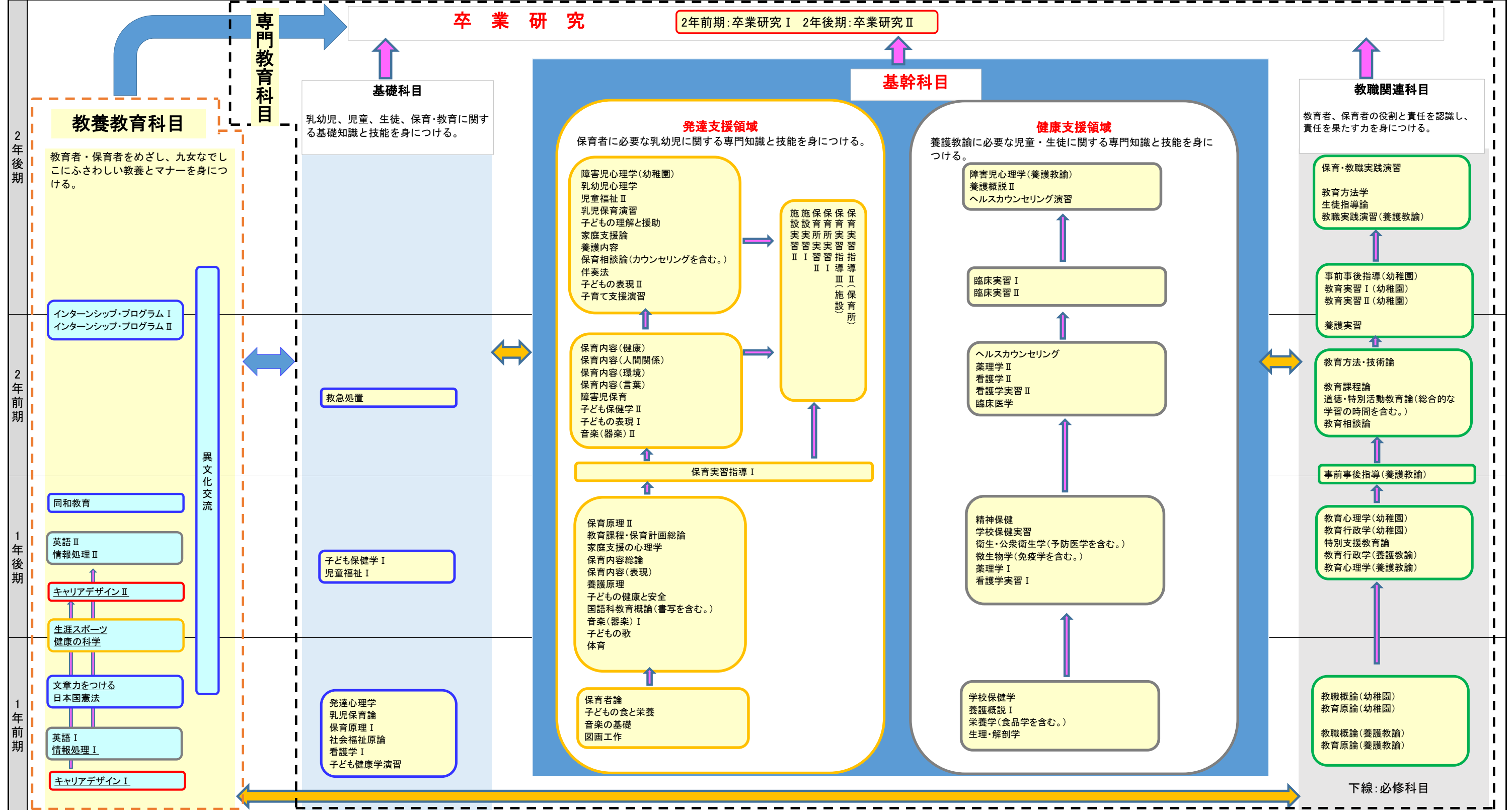
子ども健康学科では、習得した知識、技能、態度などを総合的に活用し、保育や教育の場において自ら課題を発見し、それを創造的に解決することができることを目指します。

この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与します。

知識・理解 1. 社会人として、幼稚園教諭、保育士、養護教諭としてふさわしい教養とマナーを身につけている。 2. 保育者、養護教諭に必要な乳幼児、児童、生徒に関する知識や保育・教育に関する専門的な知識と技能を身につけ、保育や教育のあり方と結び付けて理解している。

汎用的技能 1. 専門的な知識、技能を十分に活用して、保育や教育・子育て支援の場で課題を解決する確かなコミュニケーション力と実践力を有している。 2. 一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる。

態度・志向性 1. 子どもと保護者の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身につけている。 2. 保育者、教育者の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身につけている。



入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー（AP）】

子ども健康学科は卒業認定・学位授与の方針（DP）および教育課程編成・実施の方針（CP）に基づき、子どもの心身の健やかな成長発達を支援するための即戦力となる知識や技能の習得を追求します。

入学者には次のような人を求めます。

1. 高等学校もしくは中等教育学校で、基礎学力および教育や保育の現場で必要となる人間関係能力、文章力を身につけている。（知識・技能）
2. 乳幼児、児童、生徒と実際に関わっていくために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに課題解決力を持っている。併せて、子どもの心身の健やかな成長発達を支援することに熱意を持っている。（思考力・判断力・表現力）
3. 教育・保育者として、他者への思いやり、人と協力して地域・社会に貢献しようとする意志を持っている。（主体性・協働性）